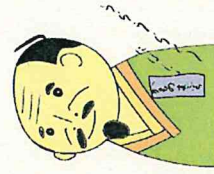


令和6年度

第2回 県居小学校運営協議会



令和6年7月31日 13:30~14:30

浜松市立県居小学校

第2回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

会長	はやかわ だいすけ 早川 大介
副会長	なかにし よういちろう 中西 洋一郎
委員	ほんだ まさあき 本多 正明 (学校支援コーディネーター)
委員	いけだ せいこ 池田 誠子
委員	なかむら えみこ 中村 恵美子
委員	やまだ かつお 山田 勝夫
委員	いながき みよこ 稲垣 美世子 (学校支援コーディネーター)

オブザーバー

県居協働センター	桐澤 祐貴
----------	-------

学校支援コーディネーター

中根 理恵 (なかね りえ)

学校

校長	鈴木 彰一 (すずき しょういち)
教頭	上村 仁美 (かみむら ひとみ)
教務	中西 啓介 (なかにし けいすけ)
C S 担当教職員	中西 啓介 (なかにし けいすけ)
C S ディレクター	坂口 千佳 (さかぐち ちか)

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子 (すずき ようこ)
-------	-----------------

第2回 浜松市立県居小学校運営協議会

令和6年7月31日(水)
13:30~14:30

会議室
＜司会:会長 記録:坂口＞

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出(出席した委員の中から互選)
- 4 前回会議録確認
- 5 熟議
(1) 中間評価の結果から (中西)

★本日のグループ熟議の目的

R6 グランドデザインと学校評価(中間)の結果を照らし合わせて、重点目標がどのくらい達成できているかデータから読み取り、前期の成果や課題を明確にする。

- ① R6 グランドデザインの重点目標ごとに評価を確認する。
- ② 学校または学年団で評価を確認し、成果や課題を見つける。
- ③ 成果や課題を見つけていくことで、「より伸ばす・重点的に取り組む・目標を達成するためのスモールステップを設定する。」などの視点で、R6 年度後期の重点的に取り組む項目を明確にし、学校と学校運営協議会とで共有する。
- ④ 本日の熟議により、成果の共有と課題(後期重点項目)が決定する。

- ⑤ 夏季休業中に教員が後期重点項目の改善策を考える。
- ⑥ 第3回の学校運営協議会にて委員の皆さんに⑤で考えた改善策を報告し、御意見をいただく。委員の皆さんの御意見を反映した改善策を後期に取り組んでいく。

(2) グループ熟議

A グループ (早川・池田

1・2年生担任)

B グループ (中西・稲垣

3・4年生担任、太田)

C グループ (本多・山田

5・6年生担任、花井、田代)

D グループ (中村・中根

すみたん担任)

F・・・ファシリテーター

F:武田 記録:佐々木

F:北村 記録:野呂

F:伊熊 記録:大塚

F:広子 記録:清水

*各グループの発表

(各グループ代表)

(3) 全体熟議

- ・学校運営協議会委員の皆さんのみによる熟議
- ・オブザーバーに意見を求める。

6 報告

- ・学校支援コーディネーター研修の報告
- ・1学期の県居小サポーターの活動報告
- ・2学期の活動計画

7 連絡

(1)次回 令和6年10月1日(金)10:20～11:30
会場:県居小学校 会議室

(2)次回の熟議の内容の確認

- ・前期学校評価の課題に対する改善策
- ・その他

閉会

〈はままつの人づくり〉

- 1 教育理念
未来創造への人づくり
市民協働による人づくり
- 2 目指す子供の姿
・自分らしさを大切にしている子供
・夢と希望を持ち続ける子供
・これからの社会を生き抜くために資
質・能力を育む子供

建学の精神「県居の心」

学ぶ心 愛する心 師弟の心

〈目指す学校像〉

- 子供の生き生きとした姿と笑顔があふれる学校
- 「チーム県居」互いに協力し、磨き合い、高め合う学校
- 安全・安心を保障し、落ち着きと潤いがあり、環境が整っている学校
- 保護者・地域とともに歩み、信頼される学校

〈西部中学校区目指す子供の姿〉

- 1 あいさつが自分からできる子
- 2 呼ばれたらよい返事ができる子
- 3 時間を守って生活ができる子
- 4 正しい服装ができる子
- 5 人の気持ちをわがることができる子

あかるい声で

あいさつをします

かながえ合い

分かるまで勉強します

たくましく

心も体もきえます

いっしょうけんめい

みんなのためににはたします

《県居のひびき》

《学校教育目標》

共に生き生きと学び続ける子

《令和6年度の重点目標》

- (知)主体的に学びあう子の育成
- (徳)自分を大切にし、他を思いやる心の育成
- (体)体力の向上と 安全意識の向上

学びいっぱい(知)

- 主体的に学びあう子の育成
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり
- ・相手を意識した伝える力・きく力
- 確かな学力の定着
- ・個に応じた支援の充実
- ・学習習慣の定着・家庭学習の充実
- ・ICT 活用の推進
- 心と表現力を豊かにする教育活動
- ・「県居に学んだことを誇りに思う活動」の推進
- ・豊かな知性と感性を伸ばす読書活動

笑顔いっぱい(徳)

- 自己肯定感を育む学校生活の充実
- ・どの子も自分らしさを発揮できる居場所づくり
(ほめる・認める・選択させる)
- ・認め合い安心でできる学級づくり
- ・道徳教育の充実
- 学校をよりよくするための特別活動の充実
- ・目的を意識した係・委員会活動や行事の在り方
- ・異年齢交流の充実
- ・話し合い活動の充実

元気いっぱい(体)

- 体力の向上
- ・運動することの楽しさや喜び、達成感を味わう学習活動
- ・事故・けがの防止
- 食育・保健指導の充実
- ・保護者と連携した保健指導
- ・主体的な健康の維持増進(心の健康)
- ・食育の推進
- 安全意識の向上
- ・自他の生命を守る意識を育む指導
- ・安全な生活を知る体験活動
- ・情報モラル教育の推進

心が通う生徒指導

- 思いやりのある豊かな人間関係づくり
- ・進んで気持ちのよいあいさつができる子の育成
- ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応

個に応じた指導の充実

発達支援教育の理念

- 発達支援教育の充実
- ・個のニーズに合わせた適切な支援
- ・保護者との連携

地域とともにある学校づくり

- コミュニティ・スクールの推進
- 家庭・地域との連携
- 積極的な情報発信
- 保幼小中連携

発達段階に応じたキャリア教育の推進

《かかわる力・見つける力・挑戦する力・つなげる力》